

「ふげん」使用済燃料輸送データの記載間違いについて

1. 概要

平成19年5月に輸送した原子炉廃止措置研究開発センターの使用済燃料(ウラン燃料10体、MOX燃料24体)の中の、MOX燃料2体に関する使用済燃料輸送容器の収納物確認記録等に記載されたウラン・プルトニウム重量の数値に間違いがあったことを確認しました。当該2体の燃料を除く過去に輸送した燃料(992体)に関する記載には間違いはありませんでした。

記載の間違いが確認された数値は、輸送容器当たりの核物質収納量の判定基準内でのデータの間違い*であり、輸送安全上の問題はありませんでした。

2. 原因と対策

記載の間違いの原因について調査した結果、平成15年8月に、当該MOX燃料2体を原子炉から取り出した際に行ったウラン・プルトニウム重量の計算処理において、計算機入力及びプログラム上の問題により、当該MOX燃料2体の重量データが間違った値になったことが原因であることが判りました。

今後、間違ったデータが記載された使用済燃料輸送関係等の書類については、関係機関の指示に従い、適切に修正処理手続きを行います。また、再発防止対策として、プログラムの改善と入力処理作業時における確認の徹底を図るとともに、作業方法、検査、記録の確認等の改善について、品質管理システムに基づき適切に処置します。

以 上

* 輸送容器当たりのウラン・プルトニウム重量の判定基準(2,720kg以下)に対して、2,601.0kgと記載したが、2,602.1kgが正しい値である。